

高齢者の立場から考える地域情報化 ～インターネット防災訓練を通じて見えてきた 高齢者のICT活用課題等～」

令和7年度通常総会 記念講演会 5月23日(金)15:30～16:55

主催 (一社)九州テレコム振興センター(KIAI)

熊本城ホール会議室B1～3(熊本市中央区桜町3番40号)

老テク研究会 事務局長 近藤 則子

インターネット防災訓練研究会事務局長

NPOブロードバンドスクール協会監事 シニアプロジェクトコーディネーター

リモート出演 NPOブロードバンドスクール協会理事 若宮正子さん 理事長代理 服部真湖さん

老テク研究会はICTで 過酷な家庭介護を変えたい

- ・ 老テクとは老人を助けるテクノロジー。
- ・ 笑顔の介護を目指して、高齢者や介護者、特に家庭介護を支援する情報通信のありかたを研究・ICT利用支援活動を実践して30年。

人による利用支援活動が鍵です

上の写真は2011年東京大学で開催したモバイルシニアネットシンポジウムで会場の辻哲夫先生と
らくらくほんでテレビ電話する老テク研究会代表の
大島真理子さんと要介護5のお父さん(当時92才)

下の写真は2005年の**電腦ひな祭り**
京都から雛人形をパソコンボランティアにみせて
もらい笑顔の大島さんとお母さん(当時85才)

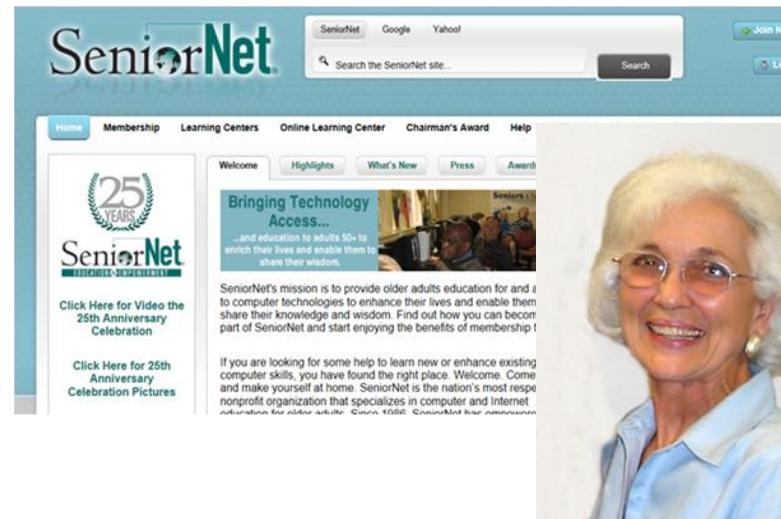


老いの孤独と障害を解消するシニアネット 広域でつながる高齢者の情報コミュニティへの参加と地域で 高齢者が高齢者にボランティアでICTを教える活動がもたらす新たな絆



高齢者こそデジタル社会の
主役
コンピューターは心の自転車

創設者ファーロング博士の言葉



1995年 当時世界最大の教育NPO
シニアネットに講演を依頼。代表として
来日講演をしてくれた ルース
ギャレット博士(65才当時)



若宮正子さん 90才の誕生祝
いを台湾で開催
オンラインで日本のシニアも
参加しました。元デジタル大臣
オードリー・タンさんとお祝い

高齢者の情報活用支援活動を老テク研究会が活動をはじめて30年 変わらないことは

- 1 高齢者はパソコンやスマホを購入しても、思うように使いこなすことが難しい
- 2 使い方を習いたいと思っても、教えてくれる場所や人がない。やさしい家族・友人はまれ 都市部には有料の教室やNPOの支援活動もあるが、価格は高く、数も少ない
- 3 高齢者が利用できるスマホ教室などサポートを受けられるのは携帯電話販売代理店だが 若い世代との情報格差は大きく、高齢者、若者ともに困っている

スマホを買っても使えなくて困っている高齢者は急増、家族や地域社会にももったいない

資料1-4

高齢者のためのデジタル活用支援員の活動のありかた
市民 行政 企業の協働で 無理せず あせらず あきらめずに



デジタル活用共生社会実現会議 ICT地域コミュニティ創造部会

近藤則子 2018年12月27日(木)

老テク研究会事務局長 NPOブロードバンドスクール協会監事 総務省地域情報化アドバイザー

資料3-5

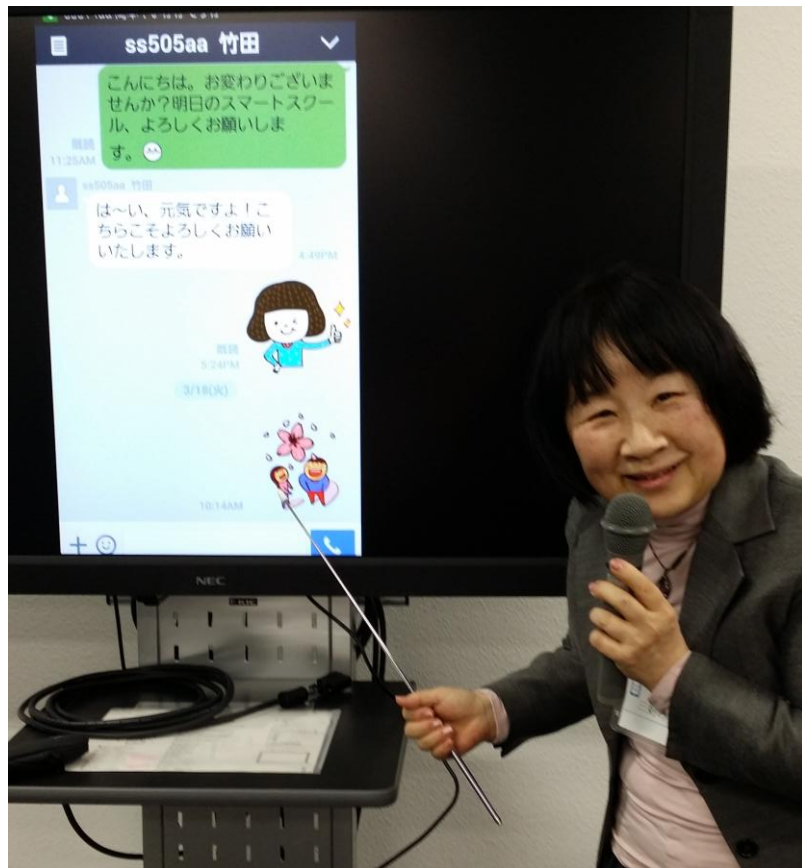
「高齢者のICT利活用の課題と対策2016」 拡がり続ける情報格差

ースマホ普及で急増する高齢者ネットトラブルー
「ICTを使えると楽しい」から「知らないで大損害」

総務省地域IoT実装推進タスクフォース第3回人材・リテラシー分科会

2016年12月9日(金)老テク研究会事務局 近藤則子

総務省地域情報化アドバイザー 横浜市消費生活推進員



シニアのためのスマホサロン

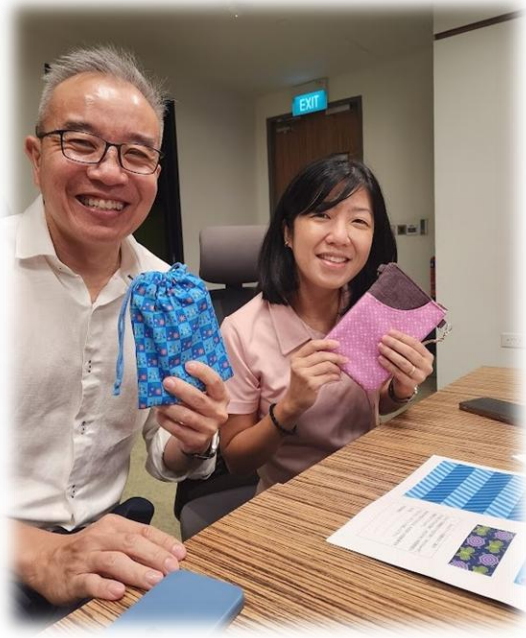
ひとりひとりの知りたいこと・わからないことにこたえる。
 三好みどりさん(71) デジタル推進委員
 横浜市 川崎市 東京渋谷区の公共施設やネット上で活動
 メロウ倶楽部で講師として活動中

電腦ひな祭りや オンラインフォーラムを通じてICTを紹介 オンラインイベントの実行委員長はタレントの服部真湖さん 日本舞踊家としてイベントの司会や踊りやトークで国内外で大人気



2025年3月 淡路島の浜辺で伊弉諾神宮の神楽の皆様と奉納舞のようすをKDDI財団の協力でスターリンクを使ってライブ配信
国内だけでなく 台湾やシンガポールからも視聴

官民連携でシンガポールの高齢者を支援するデジタル支援員 2年間で18万人の高齢者を支援 シンガポールの総人口約560万人 日本は約1億2500万人



ゴー所長と地区担当の
コリンさん 2024年8月



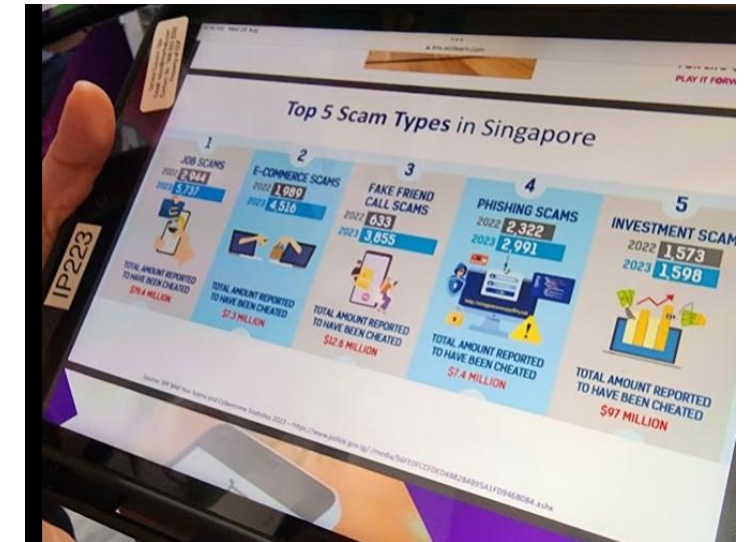
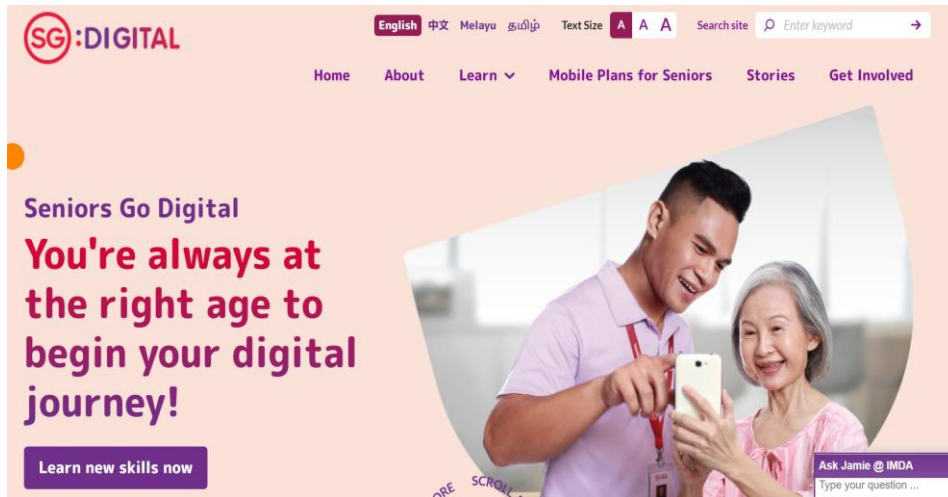
ベドックのサポートセンターを見学
日本大使館の河合さん 服部真湖さんと



地区センターのデジタルクラブ
右端がリーダーの方

デジタルアンバサダーについてはスマートエイジングフォーラム2022で紹介

https://broadbandschool.jp/blog_articles/1656205420.html

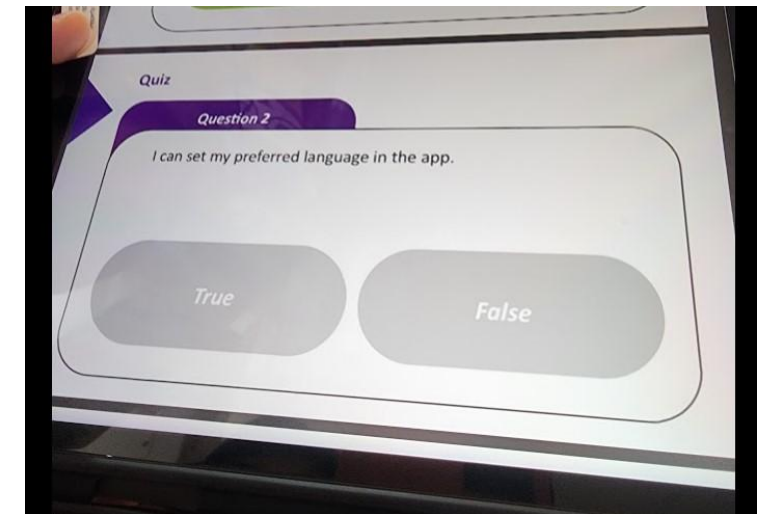


シンガポール政府が推進する高齢者のデジタル化支援の取り組み
デジタルアンバサダーは、政府と民間の協働で展開されています。

地区のコミュニティセンターは商業施設の中にあり、その一部が
サポートセンターです。有償、無償のアンバサダーが活動しています。

予約しても、しなくても利用でき、マンツーマンで対応します。

ネット詐欺被害が増えているので その手口を紹介して理解できた
どうかのテストもあります



高齢者に使いこなせれば便利なICTを伝えるために行ってきたこと

- 1 わかりやすいICTのメリット紹介講座
例 災害時に役立つスマホ講座
- 2 お金がなくてもできる方法
例 地域の福祉・教育施設、お寺との連携
- 3 いつでも、どこでも、誰でもできる工夫
テキストの作成 共有 講師の紹介。相互交流
- 4 高齢者が高齢者に教えるしくみを紹介

現在取り組んでいる活動

1 电脑無我茶会 茶道が趣味の高齢女性は多く、スマホを持っている。

2 デジタル寺子屋(スマホサロン スマホ何でも相談会) オンラインでも実施

会場がみつからなくても、講師が近くにいなくても大丈夫

11月8日 第1回电脑無我茶会を京都府福知山市長安寺で開催

第2回は2025年11月4日

3 インターネット防災訓練 災害時に役立つスマホ活用

ネット詐欺防止のスマホ講座

スマホ講座の準備をしなくても自治会の防災訓練や盆踊りのあいま

体操サークルなど既存の団体の活動の一部として実施

インターネット防災訓練研究会の活動について

インターネット防災訓練研究会

インターネット防災訓練について | これまでのインターネット防災訓練 | 講座講師のご紹介 | お知らせ | テキスト

自治会・町内会で災害時に役立つ
インターネット、スマートフォンを活用した
防災訓練もやってみませんか？

インターネット防災訓練について
こちらをクリック

これまでのインターネット防災訓練
こちらをクリック

講座講師のご紹介
こちらをクリック

テキスト
こちらをクリック



主な内容 利用するアプリ

- 1 災害用伝言版体験
- 2 ウェブ171体験
- 3 LINE
 - 1 グループLINE
 - 2 位置情報
 - 3 カメラ
- 4 NHKニュース 防災
- 5 翻訳アプリ

2021年10月10日 デジタルの日 第1回を開催

次回は2025年6月15日(日曜日)2時—3時
オンラインのみでの実施を予定

インターネット防災・防犯訓練と体操



インターネット防災訓練はコロナで対面のスマホ講座の実施が難しくなったので、ZOOMの使い方を受講者に説明してオンラインでスマホ講座をはじめました。

災害時に役立つスマホ講座として企画し、2021年からこれまで12回開催してきました。

安否確認の災害用伝言版の使い方、自助、共助の方法、実際に被災した仙台市の方たちからの経験にもとづいたいろいろなことを教えていただきました。

第12回 インターネット防災訓練のご案内

はじめての淡路、川崎、仙台、台湾をつないで行う楽しく 美味しい 防災訓練

期日 2025年1月9日(木曜日) 午前10時—12時

会場 川崎市 プラザ大師実習室

淡路市 SAKIYA STAY 参加 無料 持ち物 手ぬぐい

ZOOM によるオンラインとのハイブリッド開催

3 年前から不定期に行ってきたインターネット防災訓練。仙台の皆様からお話や有識者からの講演をオンライン(ZOOM)で行ってきました。今回は初めてリアルな会場をつないで遠隔講習を行います。川崎市で活動しているグリーンスマホ教室の皆様と旧尾崎小学校 SAKIYA STAY にご参集くださる淡路市民の皆様、オンラインで参加するみなさまとで楽しく交流いたしましょう。

台湾から参加する若宮正子さんと川崎やオンラインで参加している仙台や新潟のデジタル推進委員、情報ボランティアの皆様と交流いたしましょう。

災害時に動ける体力づくりをめざして、川崎会場から服部真湖さんが「手ぬぐいを使ったエクササイズ」を紹介しますので**ご参加の方はお手持ちの手ぬぐい、タオルをお持ちください。**



プログラム 司会 川崎から 老テック研究会 大島眞理子会長

挨拶 仙台から 坪田忠宏 インターネット防災訓練研究会代表

10時— 約40分 川崎から防災スマホ講座 講師 三好みどりさん

10時 40 分 約30分 手ぬぐいでエクササイズ 講師 服部真湖さん

11時10分—12 時 遠隔交流 電腦茶会 お茶とお菓子でおしゃべり

淡路会場 A TECH 大植浩史会長 森 靖一さん 事務局 近藤

川崎会場 グリーンスマホ教室のみなさま NACS 永沢裕美子さん

台湾から 若宮正子さん 国立台湾大学 張 Yvonne さん(日本語堪能)

12時 終了



主催 インターネット防災訓練研究会 <https://bbssenior.com/>

共催 (公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)

NPO ブロードバンドスクール協会 <https://broadbandschool.jp/>

協力 淡路市まちづくり政策課

A TECH(あわじ次世代テック推進会) <https://www.ict-awaji.club>

老テック研究会

2025年1月のインターネット防災訓練 仙台ー川崎ー淡路島ー台湾をつないで



第12回インターネット防災訓練



橋部真澄さんの「手ぬぐいでエクササイズ」



NPOブロードバンドスクール協会のサイトから
スマホ講座や防災エクササイズなど当日のよう
すを公開しています

もしもの時に動ける体力づくり 防災エクササイズ 服部真湖さん

服部真湖さんの「手ぬぐいでエクササイズ」



災害時のスマホ活用法紹介

淡路島と島外の4都市をオンラインで結び、交流を楽しみながら災害対策を考える「インターネット防災訓練」が、淡路市尾崎の拠点施設「サキア」であった。地元の高齢者ら約20人が災害時にスマートフォン(スマホ)を活用する方法などを学んだ。

(内田世紀)

淡路市

シニア向けスマホ教室。教室の講師らでつく12回目となる今回は、初めるインターネット防災訓練に参加者が集まる会場を、淡路市尾崎の拠点施設「サキア」であった。地元の高齢者ら約20人が災害時にスマートフォン(スマホ)を活用する方法などを学んだ。

ネットを使い防災訓練

5都市をオンラインで結び



島内外の5都市をオンラインでつなぐ「インターネット防災訓練」でスマホの使い方を学ぶ参加者ら＝サキア

台湾・台北市をつなぎ、計約60人が参加した。淡路会場の設営は、サキアでプログラミング教室を開く「あわじ次世代テック推進会」が協力した。

初めに、同研究会の代表を務める元仙台市長若林区長の坪田忠宏さんが「心を通わせ、支え合うことで暮らしを守る事ができる」とあいさつ。

その後、NPO法人「アロードバンドスクール協会」のデジタル推進員、三好みどりさんが、川崎会場からスマホの活用法を解説した。

三好さんは「スマホでラジオを聞いたり、ハザードマップを確認したりできる」と説明。参加者は災害用伝言板へのアクセス方法や、ライトの点灯法などを実践した。

台湾からは、世界最高齢のプログラマーと称される若宮正子さん(89)が「高齢でも大丈夫。皆さん頑張りましょう」とエール。

「有事に逃げられるよう、体力づくりも大切」と、手ぬぐいを使ったエクササイズを学ぶ場もあった。

友人と参加した大植久美子さん(73)は「スマホは連絡用でしか使わないが、災害時に役立つと分かった。覚えておくようにしたい」と笑顔だった。

同研究会の近藤則子事務局長は「シニアが多地点でつながる防災訓練は世界初ではないか。阪神・淡路大震災から30年の節目。シニアだけでなく震災を知らない若者も巻き込んで、備えることの大切さ呼びかけ続けたい」と話していた。

1.17
30年

震災の教訓つ

長寿の神様にちなむ言葉など

書遊家・岩元祐磨さん 宝生寺に作品奉納



「寿老人」「命こそ宝」などの書を奉納した岩元祐磨さん(中央)ら＝宝生寺

てられた本堂と庫裏を再建。その際、岩元さん家族が瓦を寄進し上棟式に出席したことが縁となり、今回の奉納につながった。

岩元さんは練習を重ね、半紙に「寿老人」「宝生寺」と揮毫。寿老人が長生きの神様であることから「命こそ宝」の言葉もしたためた。

書は掛け軸に仕立てら

真珠のことなら
ジュエリーウィット
洲本市下加茂 木曜⑤
26-0377

「書遊家」として表現力「こそ宝」の書を奉納した。岩元さんは小学4年のや飲食店などに作品を寄贈してきた。

れ、本堂に飾られる。十輪地弘光住職(67)は「素晴らしい言葉に心が震えた。自分とはんと関わっているが、

デジタル推進委員にすすめたい インターネット防災訓練の開催

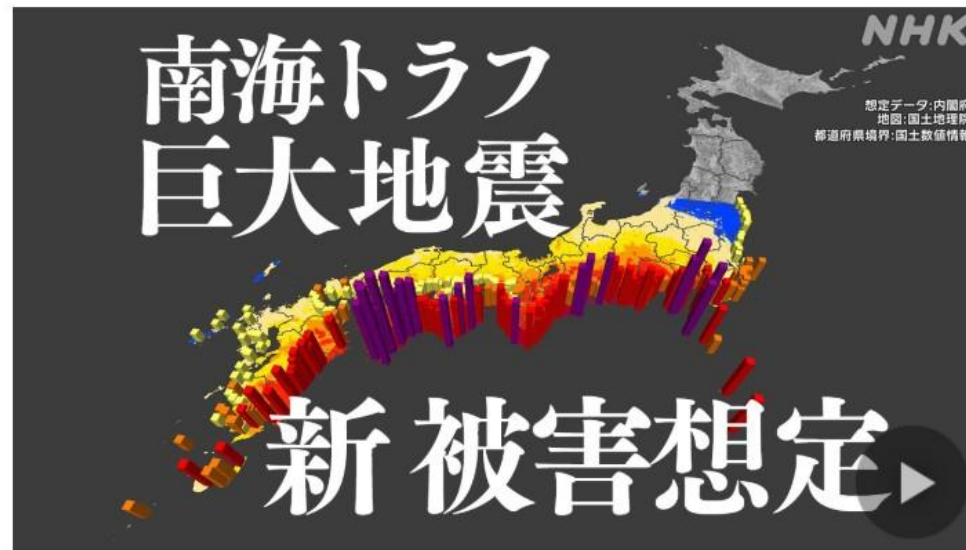


イラスト協力
ローゼンエリカさん

2025年3月に公表された被害想定 深刻な災害関連死



LIVE 山口 下関で火災 複数の建物が燃える



【詳しく】南海トラフ巨大地震「新被害想定」公表 私のまちは

2025年3月31日 20時29分

避難所運営ガイドライン

◆避難所運営業務における対策項目一覧

運営体制の確立（平時）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 避難所運営体制の確立 | 4. 受援体制の確立 |
| 2. 避難所の指定 | 5. 帰宅困難者・在宅避難者対策 |
| 3. 初動の具体的な事前想定 | |

避難所の運営（発災後）

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 6. 避難所の運営サイクルの確立 | 10. 衛生的な環境の維持 |
| 7. 情報の取得・管理・共有 | 11. 避難者の健康管理 |
| 8. 食料・物資管理 | 12. 寝床の改善 |
| 9. トイレの確保・管理 | 13. 衣類 14. 入浴 |

ニーズへの対応

- | | |
|-----------------|-------------|
| 15. 配慮が必要な方への対応 | 17. 防犯対策 |
| 16. 女性・子供への配慮 | 18. ベットへの対応 |

避難所の解消

- | |
|----------------|
| 19. 避難所の解消に向けて |
|----------------|

平成28年4月
内閣府（防災担当）

内閣府の避難所運営ガイドライン 67ページ

ポイント



平時より部局横断の取り組みが肝要

解説

平時においては、災害対策本部体制が立ち上がっていないため、避難所の対策は防災担当に一任されているのが現状です。避難所生活は住民が主体となって行うべきものですが、その運営をバックアップする体制の確立は、市町村の災害対応業務の根幹の一つと言えます。全庁体制で取り組む気概を持って、防災担当だけではなく、要配慮者担当等の関係する複数の担当課が事前に横断的な体制を組み、それぞれの役割分担を明確にした上で、いざとなった時に備えるべきです。

避難所運営体制イメージ図

市町村災害対策本部・避難所支援班

防災・福祉・保健・医療・経済・環境などの部局から選定されたメンバーで構成。平時から、避難所支援に関して、部局を超えた連携が重要。

避難所運営委員会（仮称）

市町村防災担当者、避難所運営責任者（避難者の代表者）、施設管理者、避難所派遣職員、必要に応じて、市町村関係部局の担当者。

顔の見える
関係づくり

避難所
運営会議

外部支援者

- 社会福祉協議会
- NPO・一般ボランティア
- 医療・福祉事業者等
- 警察
- 都道府県
- 他自治体からの応援職員等

(1) 基幹業務

6. 避難所の運営サイクルの確立

ポイント



実動訓練で避難所の運営を経験しておくことが有効

解説

災害が発生し、避難所を開設するにあたっては、最初に施設の被害状況を把握したうえで、避難者を受入れられる状態か否かを確認する必要があります。次に、災害対策本部では、各避難所の被害状況・避難者人数の把握を的確に行い、域内の避難所数に不足が無いかを判断することになります。そこで、災害時にいち早く避難所の運営サイクルを確立するため、避難者の受付・名簿の作成について実動訓練を行い、個人情報保護法・条例と災害時の安否確認対策についても知識の共有の機会をつくりましょう。

防災・くらし・環境

健康・福祉・子育て

観光・しごと・産業

学び・文化・国際

まちづくり・社会基盤

県の紹介・計画・入札

現在地 [ホーム](#) > [組織でさがす](#) > [健康福祉部](#) > [健康福祉政策課](#) > 「避難所運営マニュアル」及び「福祉避難所運営マニュアル」の改訂について

足あと 「避難所運営マニュアル」及び「福祉避難所運営マニュアル」の改訂について 

「避難所運営マニュアル」及び「福祉避難所運営マニュアル」の改訂について



印刷



文字を大きくして印刷

ページ番号:0051298

更新日:2024年5月30日更新

「避難所運営マニュアル」及び「福祉避難所運営マニュアル」の改訂

標記マニュアルについては、平成28年熊本地震の対応にかかる検証結果も踏まえ、行政や住民等の協力・連携のもと、円滑に避難所設営・運営を行うことができるよう、平成29年8月に策定しました。

このたび、近年の国の制度改正など現下の状況を踏まえ、内容の見直しを行いましたので、改訂後の「避難所

緊急・重要なお知らせ

2025年5月14日更新

[米国自動車関税措置等関連情報](#)

2024年1月26日更新

[通行規制情報\(防災情報くまもとへリンク\)](#)

AI（人工知能）は

こんなページをおすすめします

[災害安全\(防災\)に関する成果報告書及び計画例等について](#)

地域の避難所で防災訓練

顔の見える良い人間関係づくりをめざして

例 毎年行っている自治会・町内会などの防災訓練に
避難所マニュアルを参考に地域の避難所で、非常食を食べて
体操して、災害用伝言版の使い方を学ぶインターネット講習会

2025年9月2日(火曜日)約90分 開催予定(調整中)

デジタルはあなたの命を守ります
手ぬぐいを使って防災エクササイズ

若宮正子さん
服部真湖さん

11分
7分

限定公開YouTube。

<https://youtu.be/FQ7jfCGW6VQ>

<https://youtu.be/6-IO5MD5ALI>



ご清聴ありがとうございました。